

愛媛 道ビジョン 2016

【概要版】



えがお
愛顔あふれる愛媛県の
未来のための道づくり



平成28年2月 改訂
愛媛県土木部道路都市局



愛媛 道ビジョン 改訂の背景

愛媛県では、平成15年12月に、本県の道づくりの方向性を示す「愛媛 道ビジョン～愛媛の元氣創造のために～」を策定し、『重点化』や『効率化』をキーワードに道路整備を推進してきました。

しかし、策定から約10年が経過し、東日本大震災を教訓とした大規模災害への備えや、施設の老朽化など、その後の社会情勢等の変化を受けた新たな課題が生じています。

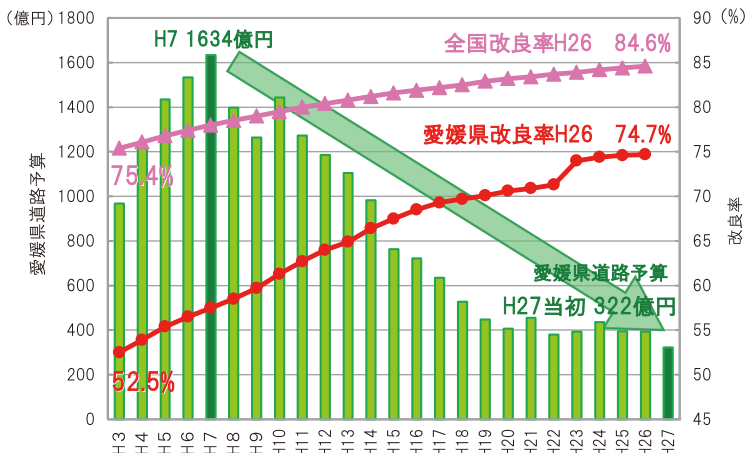
また、依然として厳しい財政状況の中、これまでの道路を「つくる」ことから、「まもる」、「つかう」といった視点への転換を図る必要があります。

このような状況に対応するため、学識経験者など様々な分野の有識者で構成する「愛媛県道路懇談会」での議論や、パブリックコメントによる県民の皆さんのご意見等を踏まえ、今後、概ね10年間の道づくりの方向性を示した「愛媛 道ビジョン 2016」を策定しました。

この「愛媛 道ビジョン 2016」の推進により、本県の長期ビジョンの基本理念「愛のくに 愛顔（えがお）あふれる愛媛県」の実現に向け、関係機関とも協力しながら、引き続き、本県の道づくりを進めていきます。

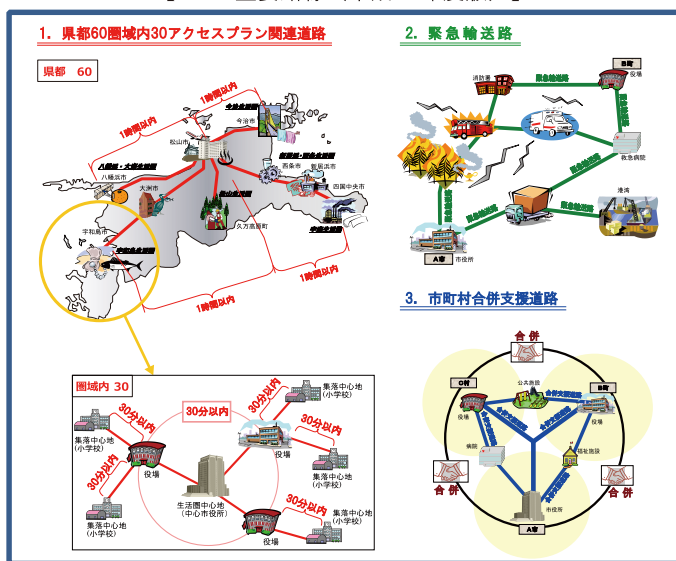
愛媛 道ビジョン これまでの取組み

- ・本県の道路関係予算はピーク時の約1/5に減少
- ・道路改良率は23年間で約22%アップしたものの全国と比べ20年以上の遅れ



※改良率：道路構造令の規格に適合する道路延長の割合

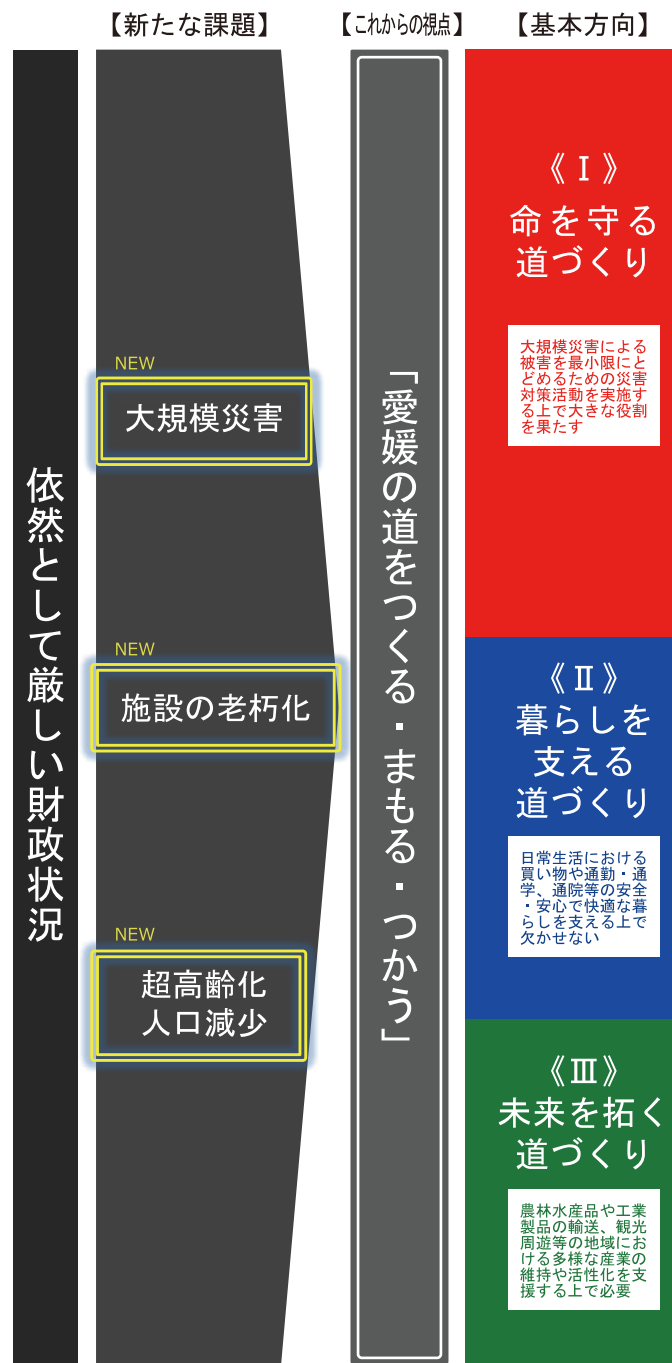
【3つの重要路線（平成15年度版）】



【これまでの重要路線の改良率】

道路種別	路線数	改良率		
		H15	H25	
重要路線	180	79%	90%	11ポイントup
①アクセスプラン関連道路	165	82%	90%	
②緊急輸送路	63	83%	91%	
③合併支援道路	124	85%	93%	
県管理道路	256	63%	71%	8ポイントup

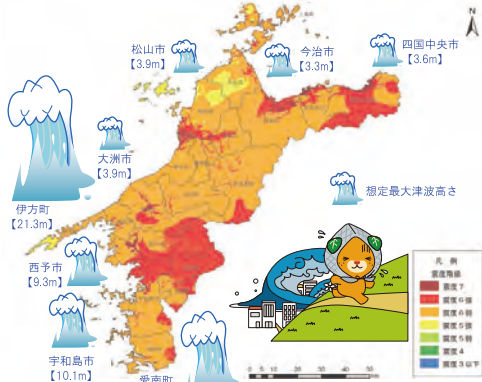
新たな 愛媛 道ビジョン 全体構成



社会情勢の変化と新たな課題

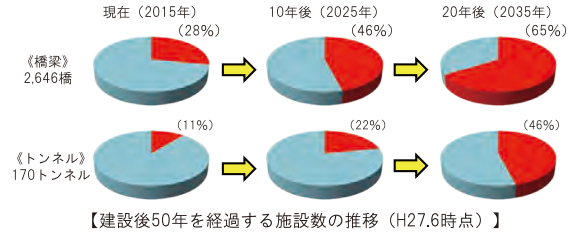
■大規模災害発生の恐れ

- ・南海トラフ地震の発生確率は今後30年以内に70%程度
- ・地震対策に加え、津波浸水や原発避難への備えが急務

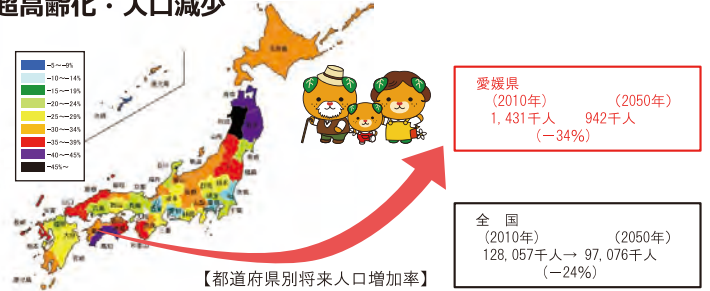


■道路施設の老朽化

- ・高度経済成長期に建設された道路施設の急速な老朽化が進行



■超高齢化・人口減少



【実施施策】

①高速道路ネットワークの早期形成と活用

- ミッシングリンクの解消に向けた整備
(四国8の字ネットワークの南予延伸、今治小松自動車道、大洲・八幡浜自動車道)
- 暫定2車線区間における4車線化の推進
- 地域高規格道路の整備 (松山外環状道路、大洲・八幡浜自動車道 等)
- インターチェンジへのアクセス道路や追加インターチェンジの整備

②災害に備える道路の整備

- 原発避難道路の整備 (大洲・八幡浜自動車道、UP2内道路)
- 緊急輸送道路の整備
- 津波浸水想定区域からの避難・救援道路の整備
- 孤立解消に資する道路の整備
- 橋梁の耐震化、トンネル保全、法面等防災

③いつまでも安心して使える道路の保全と管理

- 道路施設におけるメンテナンスサイクルの構築
- 適切な維持管理、修繕・更新等の計画的な実施

④いつも利用する生活基盤道路の整備

- 生活拠点を結ぶ地域道路ネットワークの整備
- 魅力ある集約型街づくりと連携した街路の整備
- 離島架橋による行政の効率化、利便性の向上
- だれもが安心して通行できる交通安全対策
- 安全で快適な自転車利用環境の整備

⑤都市環状道路等の整備

- 市街地における渋滞を解消する環状道路、立体交差、バイパスの整備
(松山外環状道路、JR松山駅付近連続立体交差 等)
- 空港・港湾等の交通拠点アクセス道路の整備

⑥産業の活性化や地域づくりを支援する道路の整備

- 地域経済を支える産業の活性化を支援
- 交流人口の拡大を図る観光振興を支援
- 地域資源を活用した個性ある地域づくりを支援

⑦多様な利用形態に応じた道路の活用

- 愛媛マルゴト自転車道の整備
- 多様な交通手段の連携による地域振興
- ICTの活用による道路管理の高度化

【推進姿勢】

1. 重点化
2. 効率化
3. 連携・協働

【目指すべき将来像】

第六次
愛媛県長期計画

《基本理念》
愛のくに
愛顔(えがお)
あふれる
愛媛県

長期ビジョン
(目指すべき将来像)

生き活きとした愛顔

やすらぎの愛顔

次代を担う活力ある産業の創出

快適で安全・安心の暮らし

基本方向

《I》命を守る道づくり

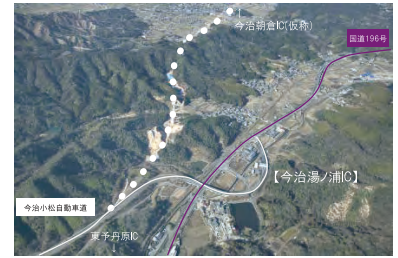
大規模災害による被害を最小限にとどめるための災害対策活動を実施する上で大きな役割を果たす

実施施策①

高速道路ネットワークの早期形成と活用

- ミッシングリンクの解消に向けた整備
(四国8の字ネットワークの南予延伸、今治小松自動車道、大洲・八幡浜自動車道)
- 暫定2車線区間における4車線化の推進
- 地域高規格道路の整備(松山外環状道路、大洲・八幡浜自動車道等)
- インターチェンジへのアクセス道路や追加インターチェンジの整備

災害に強く、地域の活性化や産業振興の基盤となる道路ネットワークの形成を推進します。



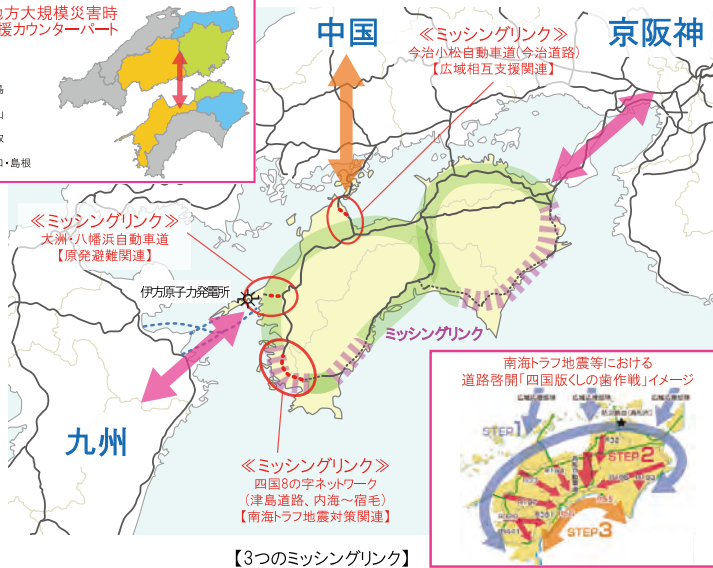
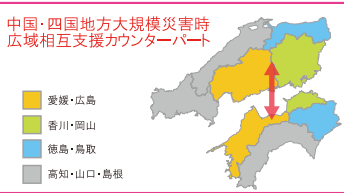
【今治小松自動車道(今治道路)】
【広域相互支援関連】



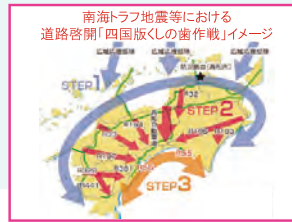
【大洲・八幡浜自動車道 八幡浜IC完成イメージ】
【原発避難関連】



【四国8の字ネットワーク(宇和島道路)】
【南海トラフ地震対策関連】



【3つのミッシングリンク】

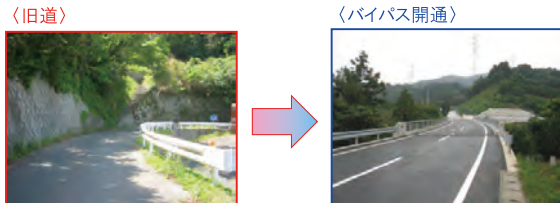


実施施策②

災害に備える道路の整備

- 原発避難道路の整備(大洲・八幡浜自動車道、UPZ※内道路)
- 緊急輸送道路の整備
- 津波浸水想定区域からの避難・救援道路の整備
- 孤立解消に資する道路の整備
- 橋梁の耐震化、トンネル保全、法面等防災

四国で唯一の伊方原子力発電所での万が一の事故や南海トラフ地震に備えるとともに、近年のゲリラ豪雨等による被災状況を踏まえ、安全で信頼性の高い道路網を確保するなど、避難や災害対策活動を実施する上で大きな役割を果たす道路整備を推進します。 ※原発から概ね半径30キロ圏域



【一般県道 鳥井喜木津線(緊急輸送道路・原発避難ルート)】



橋脚補強
(コンクリート巻立)



剥落防止工
(炭素繊維シート貼付け)



落石防止工(落石防護網)



落石防止工(ワイヤーロープ掛け工)

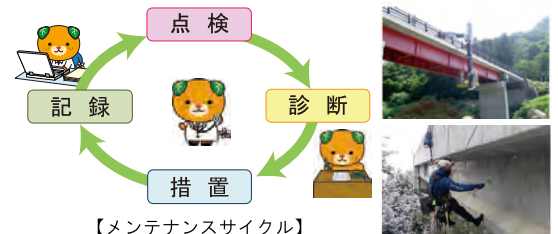
【各種防災対策】

実施施策③

いつまでも安心して使える道路の保全と管理

- 道路施設におけるメンテナンスサイクルの構築
- 適切な維持管理、修繕・更新等の計画的な実施

「予防保全型修繕」によるライフサイクルコストの縮減等を図るなど、適切な維持管理を実施します。



【メンテナンスサイクル】

基本方向 《Ⅱ》暮らしを支える道づくり

日常生活における買い物や通勤・通学、通院等の安全・安心で快適な暮らしを支える上で欠かせない

実施施策④

いつも利用する生活基盤道路の整備

- 生活拠点を結ぶ地域道路ネットワークの整備
- 魅力ある集約型街づくりと連携した街路の整備
- 離島架橋による行政の効率化、利便性の向上
- だれもが安心して通行できる交通安全対策
- 安全で快適な自転車利用環境の整備

快適な日常生活や地域間交流・連携を支える道路整備を推進するとともに、車だけでなく歩行者や自転車利用者等にも配慮した道路空間を整備します。



【(国)378号 依津バイパス 依津玉津トンネル】



【(街)西町中村線】

実施施策⑤

都市環状道路等の整備

- 市街地における渋滞を解消する環状道路、立体交差、バイパスの整備
(松山外環状道路、J R松山駅付近連続立体交差 等)
- 空港・港湾等の交通拠点アクセス道路の整備

自動車交通の円滑化を図るとともに、産業振興等の促進につながる道路の整備を推進します。



【一般県道 新居浜東港線】



【J R松山駅付近連続立体交差事業】



【松山外環状道路】

基本方向 《Ⅲ》未来を拓く道づくり

農林水産品や工業製品の輸送、観光周遊等の地域における多様な産業の維持や活性化を支援する上で必要

実施施策⑥

産業の活性化や地域づくりを支援する道路の整備

- 地域経済を支える産業の活性化を支援
- 交流人口の拡大を図る観光振興を支援
- 地域資源を活用した個性ある地域づくりを支援

地域活性化を促進させるための、県産品の生産地と集積・出荷拠点等を結ぶ道路や地域の核となる拠点地域とその周辺の道路整備を推進します。



実施施策⑦

多様な利用形態に応じた道路の活用

- 愛媛マルゴト自転車道の整備
- 多様な交通手段の連携による地域振興
- ICTの活用による道路管理の高度化

「サイクリングパラダイス愛媛」の実現に向けて、ソフト施策と連携しながら「愛媛マルゴト自転車道」の整備などを推進します。また、県、松山市、鉄道事業者等で構成する「松山空港アクセス向上検討会」で、路面電車延伸について検討が進められています。



【愛媛マルゴト自転車道 イメージ】

【多様な交通手段の連携】

推進姿勢

1. 重点化

社会情勢の変化を踏まえた重要路線に見直し、これらの路線を重点的に道づくりを進めます。

新たな重要路線①

防災・減災関連道路・・・“命を守る”

- 多重性確保を目指した緊急輸送道路の更なる整備
- 原発避難、津波避難や孤立解消に資する道路の整備

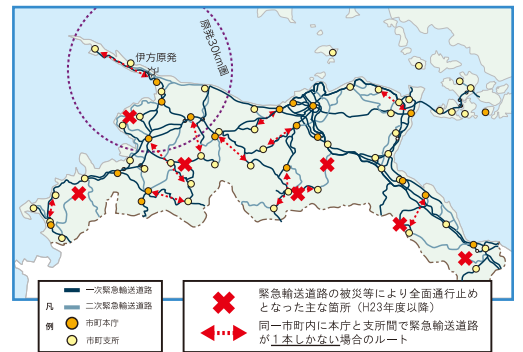
「東日本大震災」において、道路は地域住民の避難や緊急支援物資の輸送、応急対策活動に大きな役割を果たし、寸断された幹線道路に対しては迂回路が活用されるなど、道路における多重性確保の重要性が改めて認識されました。

このため、県民の安全・安心を早急に確保するため、「防災・減災関連道路」の整備を重点的に推進します。



【緊急輸送道路】
緊急輸送道路も被災により全面通行止めとなるケースがある。また、同一市町内に本庁と支所間で緊急輸送道路が1本しかないケースが多い。

→緊急輸送道路の更なる整備と多重性確保が必要



新たな重要路線②

生活圏域ネットワーク道路・・・“暮らしを支える”

- 合併後市町の本庁・支所間や本庁・支所から集落中心地を結ぶ道路等の整備

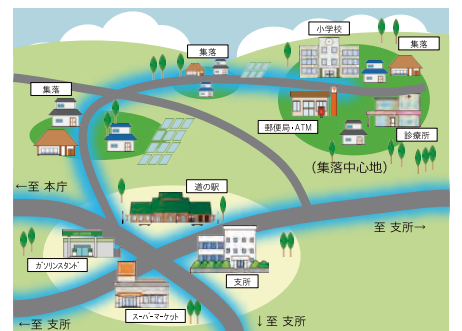
急激な人口減少の下、行政や医療・福祉、商業等各種サービスを効率的に提供するためには、集約化（コンパクト化）することが不可欠となってきますが、住民同士の助け合い・連携を図るため、地域間及び集落間でのネットワークが必要となってきます。これらを支援するため、「生活圏域ネットワーク道路」の整備を重点的に推進します。



【上島架橋 岩城橋 完成イメージ】



【(国) 379号 岩谷バイパス 新千里口橋付近】



【生活圏域ネットワーク道路： のイメージ】

人口減少下でも生活サービスを効率的に提供するために拠点機能をコンパクト化し、生活や生産活動の基盤となる周辺集落とネットワークでつないだ小さな拠点を形成する。

地域のコミュニティ再生、地域のにぎわい再生により次のような効果が見込まれる。

- ・住民同士の助け合い・連携
- ・生活利便性の向上、市街地の活性化

新たな重要路線③

産業活性化・地域づくり支援関連道路・・・“未来を拓く”

- 地域経済を支える産業の活性化を支援する道路の整備
- 地域資源を活用した個性ある地域づくりを支援する道路の整備

地域経済の根幹をなす産業をより一層活性化させるため、また、歴史、文化、自然環境等の地域固有の特性を活用した地域振興や地域づくりを進めるため、域内道路やアクセス道路の整備を重点的に推進します。

マダイ・プリの新鮮な出荷に必要な道路

（海面養殖生産額：全国第1位）

- 市場への運送時間が短縮！
- 水揚げ時間が速くなり、より新鮮な活魚を市場へ！

商業施設・工場立地に不可欠な道路

- 道路整備により高速インターチェンジや沿へのアクセス性が向上！

※重点化については、県管理道路における「改築系事業」を対象としており、防災対策や老朽化対策などの「維持系事業」は、危険度や損傷状況等に応じて、計画的に全ての箇所を実施する必要があることから、重点化の対象からは除外します。

推進姿勢

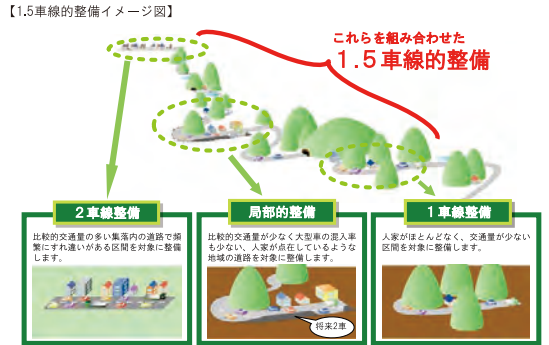
2. 効率化

1.5車線の整備手法や既存ストックの積極的な活用により整備の効率化を図り、道づくりを進めます。

1.5車線の整備手法の積極的な活用 (県道の構造の技術的基準等を定める条例の活用)

地域の实情に応じた道路計画が策定できるよう制定した「愛媛県県道の構造の技術的基準等を定める条例」(平成25年4月1日施行)の8つの県独自基準を活用して効率的・効果的な道路整備を推進します。特に「1.5車線の整備」については、引き続き積極的に活用し、早期の整備効果の発現を図ります。

- 「愛媛県県道の構造の技術的基準等を定める条例」8つの独自基準
- ①1.5車線の整備 ②車線数の緩和 ③植樹帯の設置要件の緩和④歩道幅員の縮小
 - ⑤広幅路肩の設置 ⑥交差点部の車道幅員の縮小⑦歩道部の透水性舗装
 - ⑧標識の寸法・文字の大きさの縮小



スマートICや道の駅の活用による地域拠点の形成

高速道路の利便性を向上させて地域経済の活性化等を促すために、スマートIC(ETC車両限定の簡易なIC)の追加整備を支援します。

また、「道の駅」を単なる休憩施設ではなく、直売所や防災拠点など地方創生の拠点として活用します。



既存ストックの活用

既に整備された道路施設を活用して再構築するなど、効率的に道路空間の機能を高めます。

【愛媛マルゴト自転車道の取組み】：歩行者の少ない箇所等で歩道の幅員を縮小し、路肩を拡幅することにより、自転車利用者の安全な通行空間を確保するほか、ブルーライン、注意喚起標識等の設置による安全性を確保

【水路の暗渠化・路肩のカラー化】：既設の水路や道路側溝を暗渠化したり、路肩のカラー化を行うことにより、歩行者・自転車の通行空間や安全性を確保



推進姿勢

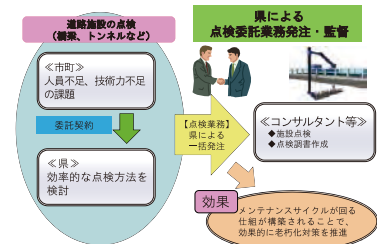
3. 連携・協働

地域の实情やニーズを的確に把握し、多様な主体と連携・協働して道づくりを進めます。

市町等との連携

本県では、県と20の市町が「県・市町連携推進本部」を設置し、「橋梁やトンネル等の点検の県による一括発注」等の具体的な連携施策をとりまとめた「愛媛県・市町連携推進プラン」を策定して、二重行政の解消や共通課題に引き続き連携して取り組みます。

また、道路に関する相談・意見等のワンストップサービスや、大規模災害時等の「道路啓開計画」など、今後とも各道路関係機関の間で密接な連携を取ります。



【「橋梁やトンネル等の点検の県による一括発注」イメージ】



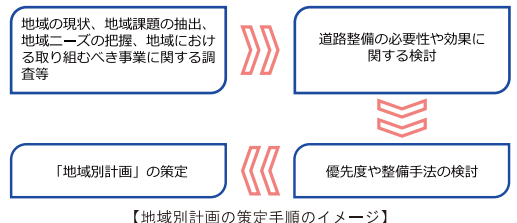
日常的な道路の維持管理

県と市町が連携して区域内の幹線道路を一体的に管理し、効率的・効果的な維持管理を行い経費の削減に努めるほか、道路ネットワークの機能強化を図るため、道路パトロールの受委託、降雪時の交換除雪等に取り組んでいます。

また、住民参加による道路美化活動を支援する「えひめ愛ロード運動」を活用するなど、限られた予算の中で効率的な維持管理を目指します。

地域の特性に応じた整備計画(地域別計画)の検討

『地方創生』に向けた計画や今後の「地域のあり方」を検討する際に課題となっている道路に関する問題解消等、道路整備による支援を効率的に進める必要があります。このため、地域の産業・文化・景観等の特性や状況に応じた整備区間の峻別を行うなど、関係者と連携して、効果的な投資を目指した弾力的な整備計画(地域別計画)の検討を進めます。



道路整備のストック効果

ストック効果 その①

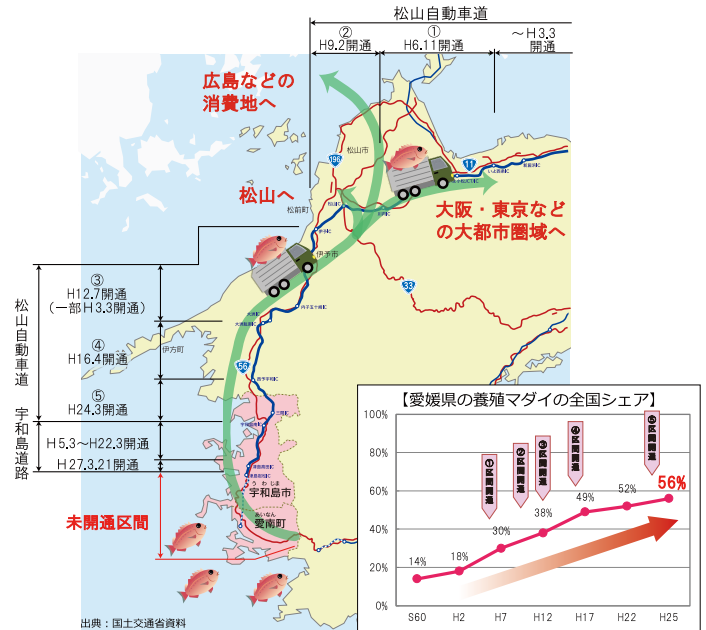
産業振興

8の字ネットワークが日本一の養殖マダイの販路拡大に寄与

四国縦貫・横断自動車道 国道56号 大洲道路・宇和島道路



【国道56号 宇和島道路 津島高田IC～津島岩松IC】
(平成27年3月21日開通)



- 高速道路の整備につれて、東京や大阪などの大消費地により早く、より多くの養殖マダイが運べるようになり、シェアが拡大 **【全国シェア第1位 (約6割) !!】**
- 残る区間の整備により、地域の名物がブランド化し、地場産業のさらなる発展が見込まれる

ストック効果 その②

地域活性化

バイパス開通と道の駅オープンの相乗効果で入込客数が増加

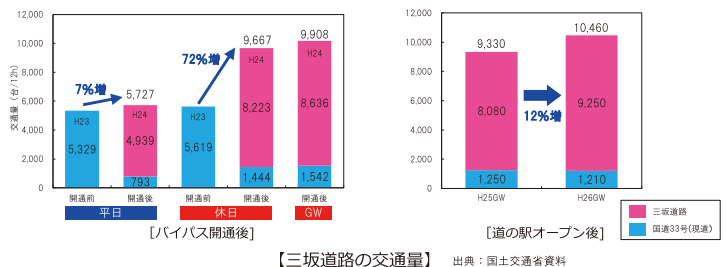
国道33号 三坂道路



【国道33号 三坂道路】 (平成24年3月17日開通)



【道の駅「天空の郷さんさん」】 (平成26年4月22日オープン)



- 物産販売や観光アクセスの拠点として整備された道の駅「天空の郷さんさん」との相乗効果により、**町外からの入込客数が増加し、地域が活性化**
- バイパス開通により、走行時間が約6分短縮 (14分→8分) されるほか、異常気象時の事前通行規制や冬期の降雪・凍結の影響が減少するなど、アクセス性が向上し、交通量が増加
- 道の駅では従来の「休憩」「情報発信」「地域振興」等の機能に加え、自家発電装置、備蓄倉庫や給水タンク等を整備し、地域の「防災拠点」としての機能も併せ持つ施設として活用

ストック効果 その③

安全・安心

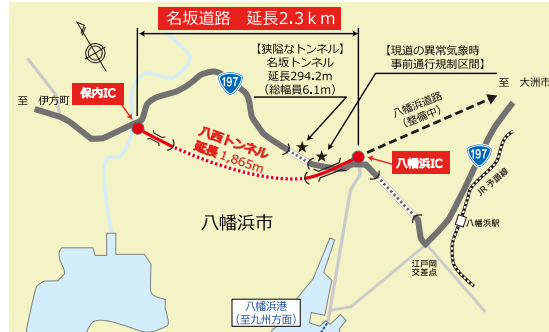
バイパスの開通により渋滞解消・アクセス性向上

国道197号 名坂道路

(大洲・八幡浜自動車道 八幡浜IC~保内IC)



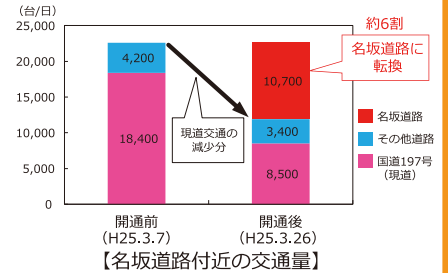
【国道197号 名坂道路】
(平成25年3月17日開通)



【名坂道路開通前の現道の状況】



狭隘なトンネル入口において
大型車の通過待ちに伴う渋滞が発生



- 異常気象時の事前通行規制区間を通ることなく移動が可能になり、地域の安全・安心を確保
- 名坂道路の開通により所要時間が5分短縮 (7分→2分) され、アクセス性が向上
- バイパス整備により約6割が交通転換し、現道区間の狭隘トンネルに起因する渋滞が解消

ストック効果 その④

観光振興

愛媛の顔・道後温泉周辺の官民協働による整備で観光客が増加

一般県道 六軒家石手線



整備後

【道後地区整備事業】道後温泉本館周辺
(平成16年度~23年度)



整備前

【道後温泉本館前 整備状況】



車両の通行により、温泉の顔である本館前で安心して記念撮影もできない状況



整備後

車両を排除して歩道を整備し賑わいある空間を創出



ココロ潤う。おんな一人旅に人気の温泉地ランキング
(平成26、27年 楽天トラベル調べ)

2年連続 第1位

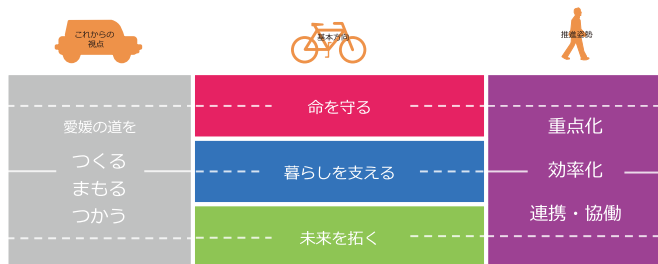
- 道後温泉本館前を通過していた車道を裏側へ迂回させることで、本館前に賑わいある空間を創出
- 歩道整備や電線類の地中化等により、日本最古の温泉地の情緒あふれ歴史漂う景観を形成
- 道後温泉本館や周辺ホテル・旅館の一室をアーティストが手掛けた「道後オンセアート 2014」がグッドデザイン賞を受賞するなど、官民一体となって観光地を盛り上げ、活況を呈する

愛媛 道ビジョン 2016

【概要版】

- 平成15年12月 愛媛 道ビジョン 策定
- 平成16年4月 四国横断自動車道（西予宇和IC～大洲北只IC） 開通
- 平成16年12月 主要地方道 松山港線 高浜トンネル 開通
- 平成17年3月 主要地方道 壬生川新居浜野田線 新兵衛大橋 開通
主要地方道 宇和明浜線 伊賀上バイパス 開通
- 平成17年10月 道路関係4公団民営化
- 平成18年4月 一般国道317号 大島道路 開通
～瀬戸内しまなみ海道 全線開通～
- 平成19年2月 一般国道196号 松山北条バイパス 開通
- 平成19年8月 一般国道441号 鳥鹿野拡幅 完成
一般国道440号 柳谷拡幅 完成
- 平成20年3月 一般国道319号 法皇バイパス 開通
- 平成21年4月 道路特定財源の一般財源化
- 平成22年2月 一般国道379号 内子東バイパス 開通
- 平成22年4月 主要地方道 新居浜別子山線 青龍橋工区 開通
- 平成22年11月 一般国道440号 地芳道路 開通
- 平成23年2月 一般県道 岩城弓削線 生名橋 開通
- 平成24年3月 一般国道33号 三坂道路 開通
四国横断自動車道（宇和島北IC～西予宇和IC） 開通
- 平成24年9月 一般国道381号 松野東バイパス 開通
- 平成25年3月 地域高規格道路 大洲・八幡浜自動車道 名坂道路
（一般国道197号） 開通
一般国道380号 寺村バイパス 開通
- 平成25年11月 主要地方道 長浜保内線 大和橋 開通
- 平成25年12月 主要地方道 大西波止浜港線（星浦～大井浜） 開通
- 平成26年3月 一般国道33号 松山外環状道路インター線
（井門IC～古川IC） 開通
- 平成26年4月 新たな高速道路料金の設定（本四高速が全国道路網に編入）
- 平成27年3月 一般国道33号 松山外環状道路インター線
（市坪IC～余戸南IC） 開通
一般国道56号 宇和島道路 全線開通
一般県道 新居浜東港線（郷～観音原工区） 開通
- 平成28年2月 愛媛 道ビジョン 2016 改訂

全体構成



愛媛県 土木部 道路都市局
道路建設課 道路維持課 都市整備課

ホームページ

「愛媛の道路 ポータルサイト」
<http://www.pref.ehime.jp/h40400/5744/index.html>